

古戦場めぐり

(その1)

!! 桶狭間の合戦を再現 !!

——破竹の勢いによつて彼が何故破れたのか。又一塊の粗野な小大名に過ぎなかつた彼を勝利に至らしめたのは。——。極限状態にぶかれた戦国武将の一挙一動から現代に通ずるものを貪欲に学び取ろう。

SCHEDULE

5月8日(土) 行先決定・予備学習

5月15日(土) 学習会

・ 22日(土) 実地踏査 打合せ

23日(日) 実地踏査

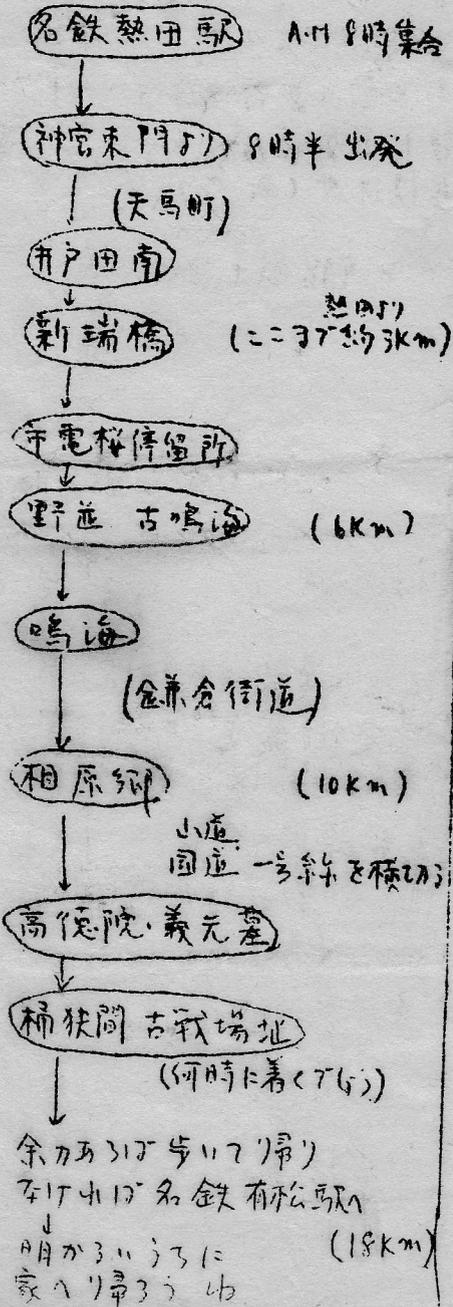
未定日 総括学習会
全員Reportし

名大郷土研究会

実地踏査コース予定

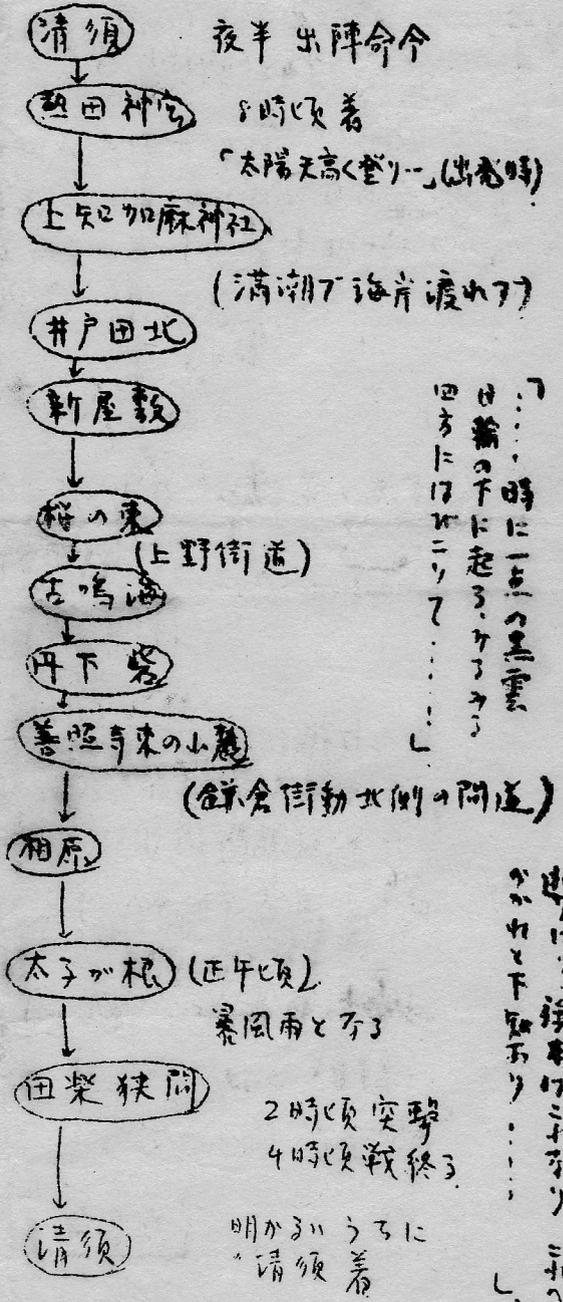
ぼくたちの予定

日時・昭和40年5月23日



信長の今川攻撃進路

永禄3年(1566)5月19日



日暮の時に一点の黒雲
四方には吹雪いて...

此の通り 旗本の陣取り
かかれ下知あり...

信長と義元

信長

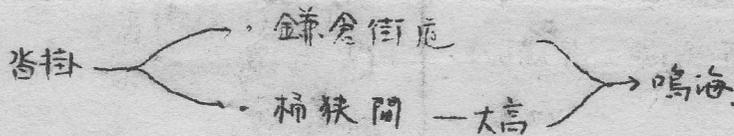
「……人間 50年 化粧の内をくろくふかひ
夢幻の如く存り 一度はとけ滅せぬもの
あるべきか……」 信長が愛唱した諷曲「敦盛」

「……後に聞くに 信長 あらかじめ熱田大宮司
をかたういの内陣に 武具と人を隠しおき 信長軍士
を引こつれて参詣せうらうと云物の具の音
神威鳴り動くが如くひびかし 又鷲の飛行するを
神威の致るところにて 諸軍勢に勇気を厚かしたる
凡人ならずとそのころせよ上には沙汰せしと存り」

—三河後風土記—

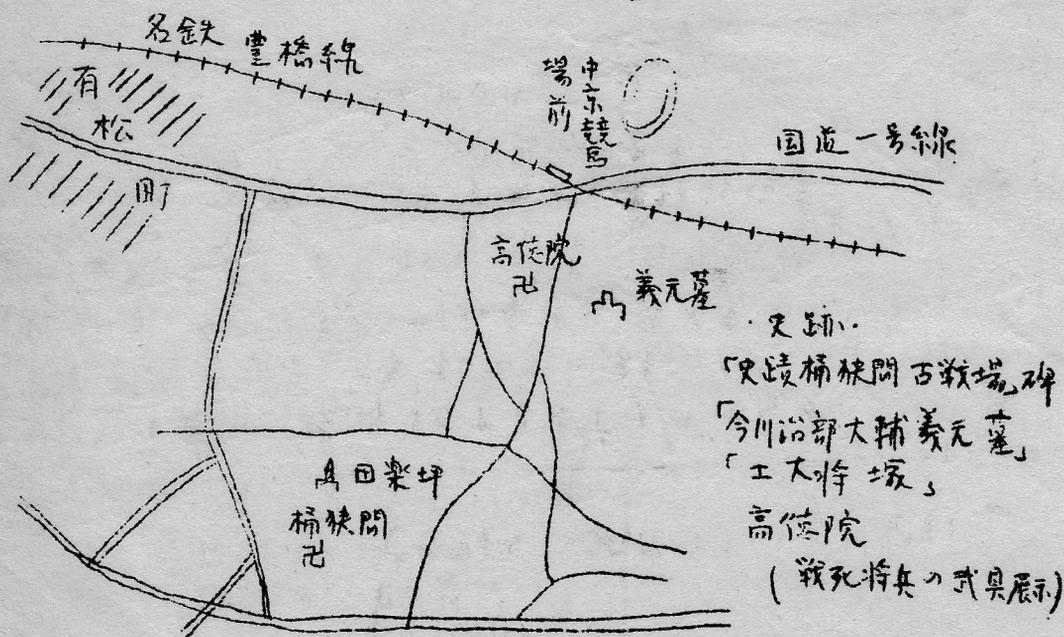
義元

本隊の進路決定に於て



義元は隊伍整然と進撃したりという貴族武将
の見栄から山間の小道である鎌倉街道を
さけて桶狭間経由の遠回りをして、彼は
決して暗愚な武士ではなかつた、たとへば聞く、はな
れは彼が連勝の波たのび、幸運のときこそ
不慮の口をひらいて、はなるとはなるとを
忘れてしまつて、はなつたかき知れぬ

桶狭間古戦場付近略図



- ・ 当日
 - ・ 弁当、水筒 (必ず持参)
 - ・ × 手帳、時計
 - ・ 歩く服装
- 雨天決行 (絶好の condition) が望ましい。

過去に於て色々検討されてきましたが今度の行事は本会最初のもので、今後の活動の礎となるべく又色々御指導下さった先輩諸兄に対して恥ずかしく存じるところべく是非成功させましょう。この抄は一つには我々の活動状況を他校の方にも知ってもらうために作りました。興味のある人は参加して下さい。

片山記